

令和 4年度予算見積調書(9月補正予算)

課室名: スポーツ振興課
 担当名: パラスポーツ担当
 内線: 6998

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B1	障害者スポーツで活力ある社会づくり推進事業			一般会計	民生費	社会福祉費	障害者福祉費	障害者スポーツ振興費		
事業期間	令和 4年度	根拠法令	障害者基本法第25条 スポーツ基本法第2、第4、第6、第12条			針路	08 支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール	3	
						分野施策	0804 スポーツの振興	SDGsターゲット	3-1, 3-2, 3-3, 3-4	
1 事業概要	公益財団法人日本パラスポーツ協会の事業である「障害者スポーツ実施環境の構築支援事業」(令和3年度国補正予算)を受託してパラスポーツ用具を購入し、障害者が身近な場所でスポーツを実施することができる環境を整備する。 障害者スポーツが身近になる環境づくり事業 8,078千円			5 事業説明 (1) 事業内容 障害者スポーツ実施環境の整備 8,078千円 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、障害者のスポーツ離れが進んでいる状況に対応するため、パラスポーツ用具を購入し、活用することで、パラスポーツを身近な場所で気軽に実施できる環境を整備する。 ※事業スキーム 国(令和3年度補正予算) ↓(補助金) 公益財団法人日本パラスポーツ協会(「障害者スポーツ実施環境の構築支援事業」) ↓(委託) 都道府県、市区町村、障害者スポーツ協会、競技団体等						
2 事業主体及び負担区分	(公財)日本パラスポーツ協会10/10・県0)			(2) 事業計画 ア 県主催のパラスポーツイベントで使用する用具の購入(スポーツ振興課) (ア)埼玉県ボッチャ交流大会の実施のため、用具を購入する。 (イ)県民の日にボッチャ体験会を実施するため、用具を購入する。 (ウ)ゴールボール体験会を実施するため、用具を購入する。 イ 県施設でのパラスポーツ用具の貸出し(埼玉県障害者交流センター及び特別支援学校) (ア)障害者にとって身近な施設である埼玉県障害者交流センターや特別支援学校で、パラスポーツ用具を貸し出し、パラスポーツを身近に実施できる環境を整備する。						
3 地方財政措置の状況	なし			(3) 事業効果 ア 県主催のパラスポーツイベントで使用する用具の購入 (ア)埼玉県ボッチャ大会 参加者数 令和元年度 126人 → 令和4年度見込 150人 (イ)県民の日ボッチャ体験会 参加者数 300人 (ウ)ゴールボール体験会 参加者数 令和4年5月 40人 → 令和5年1月見込 50人 イ 県施設でのパラスポーツ用具の貸出し 利用者数 延べ2,000人						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×3人=28,500千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の予算額	
決定額	8,078	諸収入	8,078					0	36,321	
現計額	28,243							28,243		

事業内訳書

事業名	障害者スポーツで活力ある社会づくり推進事業		
単位事業名	障害者スポーツが身近になる環境づくり事業	予算額	8,078千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	4,319	—	パラスポーツ用具の購入費（単価10万円未満の用具） （ボッチャボール、フライングディスク 等）
備品購入費	3,759	—	パラスポーツ用具の購入費（単価10万円以上の用具） （競技用車いす、ゴールボール用ゴール 等）
合計	8,078	—	